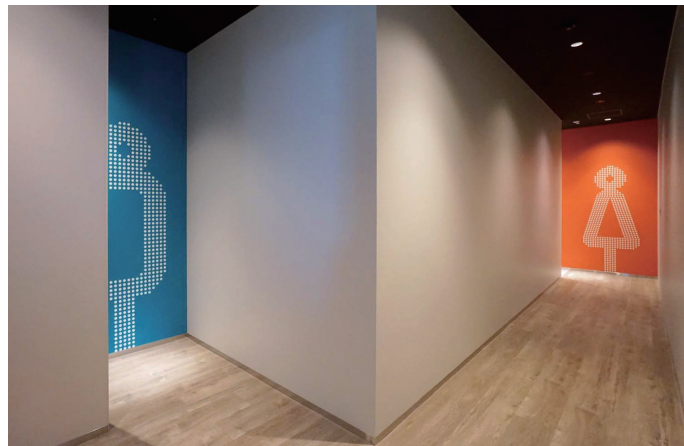


JR宮交ツインビル（アミュプラザみやざき）



外観

宮崎駅西口開発計画の中核となる「JR宮交ツインビル」は、海側10階建ての「うみ館」と広島通り山側の6階建て「やま館」2棟からなる。宮崎が誇る海山の大自然と、日本神話「山幸彦と海幸彦」が愛称の由来。



うみ館 4Fトイレ 入口

JR宮交ツインビルに入る商業施設「アミュプラザみやざき」のトイレ入口は、ひと目でわかりやすい、大きなイラストと色分けが施されている。さらに、女性トイレを防犯面に配慮し、奥に配置。安心して利用できる。

うみ館 4F女性トイレ
洗面コーナー

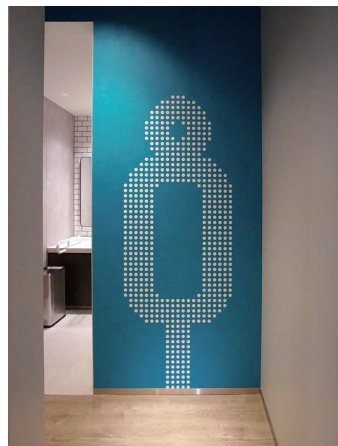
非接触で手洗いができる自動水栓を採用。ユニバーサルデザイン配慮から、1ヶ所に手すりを備えた洗面カウンターを設置。鏡は全面タイプを採用することで、開放感を演出している。

うみ館 4F女性トイレ
スタイリングコーナー

洗面コーナーとは別にスタイリングコーナーを設けることで動線を分け、混雑緩和に配慮した。隣人の視線が気にならないように個別鏡を採用。さらに、身だしなみをチェックできる全身鏡も設置されている。

うみ館 4F女性トイレ
大便器ブース

ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感を高めている。さらに荷物配慮として、ライニングとは別にフックも設置。お子様連れ配慮として2ヶ所のブースにベビーチェアを設置している。

うみ館 4F男性トイレ
入口

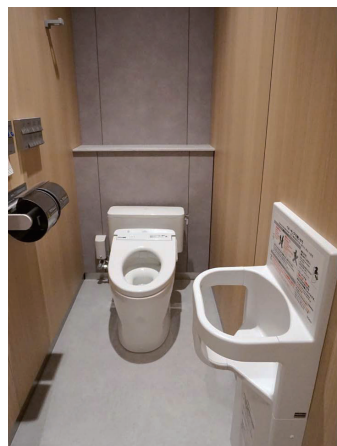
入口には、身だしなみをチェックできる全身鏡を設置。天井まで鏡を設けることで、空間に開放的な印象を演出している。

うみ館 4F男性トイレ
洗面コーナー

手洗い後の水垂れを抑えるため、洗面器の間にクリーンドライ（ハンドドライヤー）を設置。非接触で手洗いができる自動水栓を採用している。

うみ館 4F男性トイレ
小便器コーナー

床の清掃性や節水性に優れた掃除口・きれい除菌水対応壁掛式の自動洗浄小便器を採用。さらに、ユニバーサルデザイン配慮として、1ヶ所の小便器には手すり設置し、傘や杖などが掛けられるフックも取り付けられている。

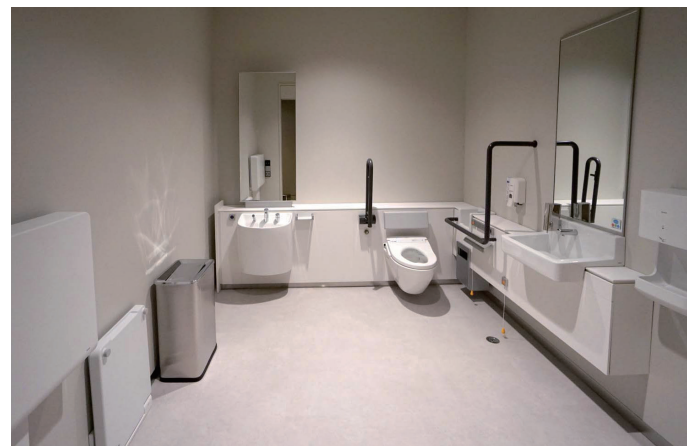
うみ館 4F男性トイレ
大便ブース

大便器はコンパクト設計にこだわり、連続洗浄可能なフラッシュタンク式を採用。お子様連れに配慮して、2ヶ所のブースにベビーチェアを設置している。



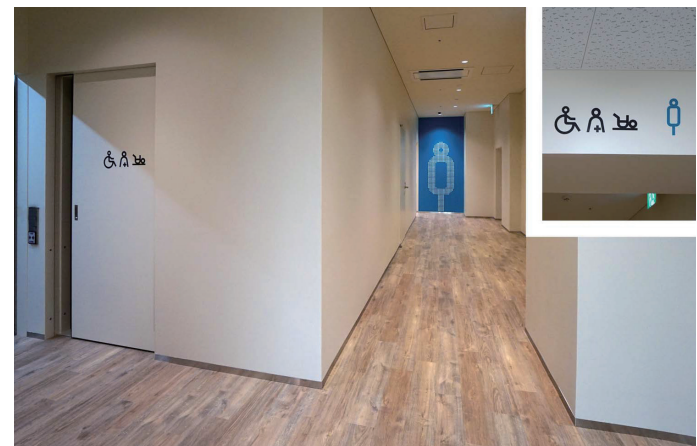
うみ館 4F多機能トイレ

多機能トイレの入口には、設備内容がひと目でわかるサインを表示。扉は、操作部のスイッチ操作により、自動開閉も可能となっている。



うみ館 4F多機能トイレ

使いやすさと同時に、空間としての統一感のあるデザインを実現したフラットカウンター多機能トイレパックを採用。車いす使用者や乳幼児連れ、オストメイトなど、さまざまな使用者に対応できる設備を完備している。

やま館 5F男性トイレ
入口

やま館は、フロアによってトイレ内の設備が異なるため、天井部分にサインを表示。入口手前に多機能トイレを配置するレイアウトにより、車いす使用者がエレベーターからの動線が短くすむように配慮している。

JR宮交ツインビル（アミュプラザみやぎ）

やま館 5F男性トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーには、感染・衛生配慮の自動水栓を採用。さらに、身だしなみをチェックできる全身鏡を設置している。

やま館 5F男性トイレ
小便器コーナー

シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛式の自動洗浄小便器を採用。小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアPUを設置している。

やま館 5F男性トイレ
大便器ブース

コンパクトなデザインで、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。お子様連れ配慮として手前の2ブースに、ベビーチェアやベビーシートを設置した「ひろびろブース」を配置している。

やま館 6F女性トイレ
入口

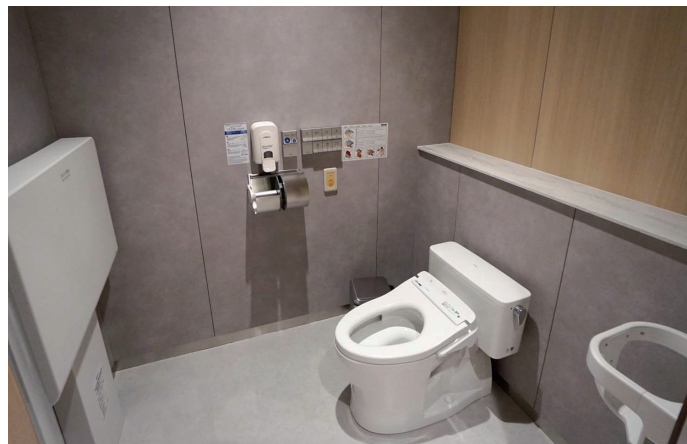
5F同様、トイレ内の設備を天井部分に表示し、壁一面に、視認性のよい大きなトイレサインを掲示している。

やま館 6F女性トイレ
スタイリングコーナー

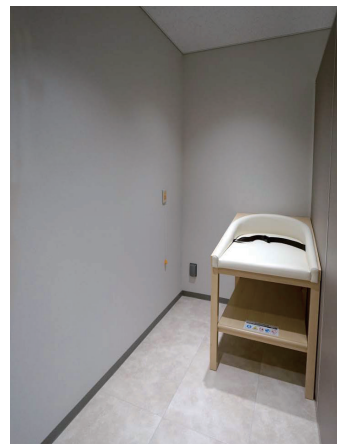
洗面コーナーとは別に、スタイリングコーナーを設置。鏡は隣人の映り込みに配慮して個別鏡を採用。さらに、化粧直し後に、身だしなみをチェックできるように全身鏡を設置している。

やま館 6F女性トイレ
ひろびろブース

「ひろびろブース」を2ヶ所配置。内1ヶ所はさまざまな身体状況の方に対応できるよう手すりとおむつ替えや着替えに使用できるだけでなく大きな荷物を置くことができるフィッティングボードを設置。

やま館 6F女性トイレ
ひろびろブース

2ヶ所のうちのもう1ヶ所の「ひろびろブース」は、機能分散に配慮して、ベビーシートやベビーチェアを完備した乳幼児連れ対応の設備としている。



やま館 6F授乳室

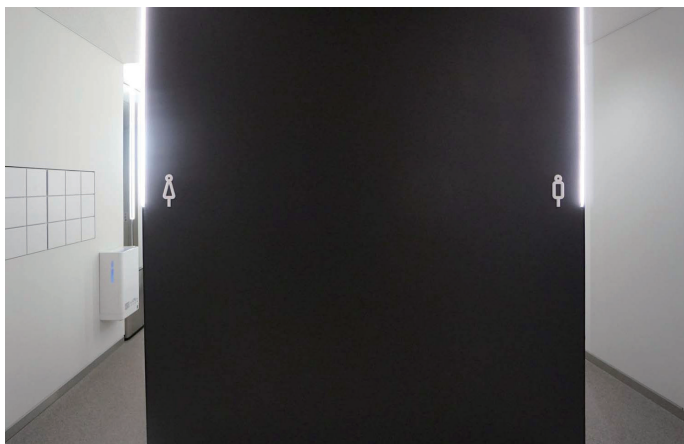


流し台やゴミ箱を完備した授乳室。パーテーションで仕切られたおむつ替スペースにはベビーカーのまま入ることができ、さらに防犯面や安全性に配慮して、呼び出しボタンを設置している。



やま館 6F多機能トイレ

車いす使用者や乳幼児連れ、オストメイトなど、さまざまな使用者に対応できる設備を完備。うみ館は右勝手仕様だったが、やま館は左勝手とし、車いす使用者が身体の状況に応じて利用できるように配慮している。

オフィスフロア
トイレ入口

オフィスフロアのトイレは、執務空間であることからスタイリッシュで機能的なデザインを体现。男性・女性で色分けのないシンプルなピクトサインを採用している。

オフィスフロア 女性トイレ
洗面コーナー

感染・衛生配慮の自動水栓を採用。自立歩行の方に配慮して、手すりを備えた洗面カウンターを設置している。LED照明を鏡横に設けることで、スタイリッシュな空間を演出。

オフィスフロア 女性トイレ
スタイリングコーナー

床から天井まである全身鏡で、化粧直しだけでなく、身だしなみチェックもしやすい。さらに、化粧直しがしやすいように鏡横にLED照明を設置している。

JR宮交ツインビル（アミュプラザみやざき）



オフィスフロア 女性トイレ
大便器ブース

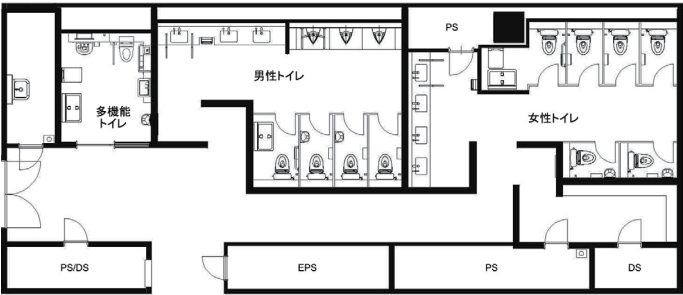


大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに個室感も高めている。衛生面に配慮して、ノズルをきれいに保つことができる「きれい除菌水」機能を備えたウォシュレットアプリコットPを設置。



オフィスフロア 女性トイレ
小物入れ

商業フロアと異なり、利用者が限定されるオフィスフロアであることから、プライベートに使用できる小物入れを設置。歯みがき用のコップや生理用品・化粧ポーチなどが収納可能。



うみ館 4Fトイレ図面

アプローチしやすい多機能トイレから、視線配慮を考慮して、機能的に男性トイレ、女性トイレがレイアウトされている



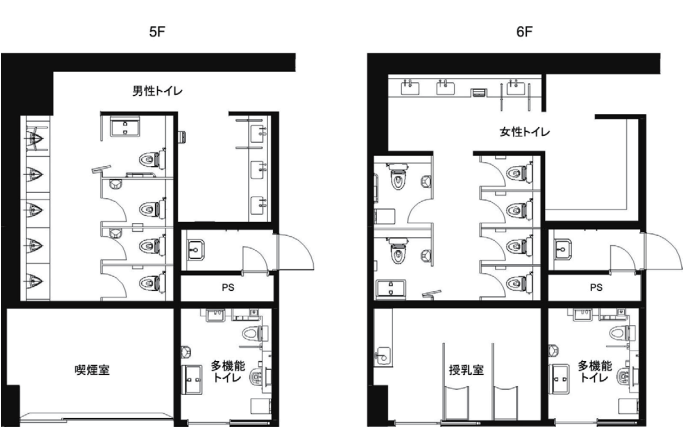
オフィスフロア 男性トイレ
洗面コーナー

感染・衛生配慮の自動水栓を採用。全体をホワイトに統一し、清潔感のある空間を演出している。



オフィスフロア 男性トイレ
小便器コーナー

小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアPUを設置。きれい除菌水対応の自動洗浄小便器を設置することできれいが長持ち。荷物配慮として、ライニングやフックを設けている。



やま館 5・6Fトイレ図面

女性トイレには、スタイリングコーナーを入口近くに配置。空間を有効に活用した機能的なレイアウト。



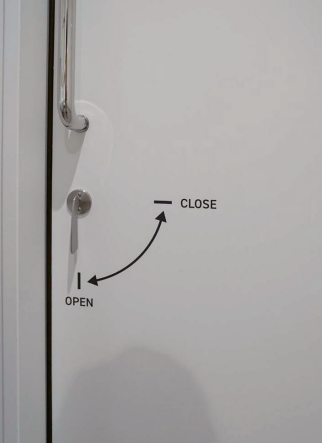
オフィスフロア 男性トイレ
大便器ブース



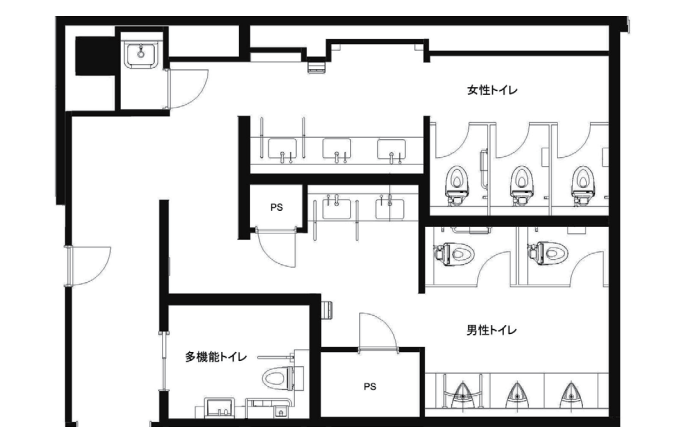
ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げプライバシーに配慮。ウォシュレットには、ボタンを押すたびに発電し、電源工事や乾電池の交換が不要なエコリモコンを設置している。



オフィスフロア
多機能トイレ



車いす使用者だけでなく、男性・女性トイレが混雑している場合にも利用可能。扉の鍵は、視認性がよい大きめのサインで表記している。



オフィスフロア
10Fトイレ図面

オフィスワーカーが利用しやすく、トイレゾーンの空間全体をレイアウト。

水まわりの特長

建物の特徴

「JR宮交ツインビル（アミュプラザみやざき）」は、宮崎の新たな拠点として、宮崎駅西口開発計画の一環として建設された。宮崎駅前・海側にある10階建ての商業「うみ館」とオフィスの複合施設、広島通り側・山側にある6階建ての商業施設「やま館」のツインビル構成となり、宮崎が誇る海山の大自然と、日本神話「山幸彦と海幸彦」がそれぞれの愛称の由来となっている。さらに、新たな生活を提案する複合商業施設では、宮崎駅1Fにあった「えきマチ1丁目宮崎」を改修し「ひむか きらめき市場」として開業することで、これとあわせて「アミュプラザみやざき」と命名。宮崎中心市街地の賑わいの活性化が期待されている。

水まわりの特長

JR宮崎駅に隣接する「アミュプラザみやざき」の商業施設には、地元の方はもちろん、県内外の旅行者も多く訪れることから、大きな荷物を持つでの移動を考慮して、トイレには、ひろびろブースやライニングなどの荷物配慮を充実。さらに、すべてのブースに洋式便器とウォシュレットが設置され、お子様連れ配慮として、女性トイレ、男性トイレともにベビーチェアやベビーシートを設けている。多機能トイレは、車いす使用者の身体状況に応じて利用できるように、「うみ館」は右勝手仕様、「やま館」は左勝手仕様としている。また、オフィスエリアのトイレは、スタイリッシュで機能的な空間が創出されている。

建築概要

名称	JR宮交ツインビル（アミュプラザみやざき）
所在地	宮崎県宮崎市老松2-2-22（うみ館） 宮崎県宮崎市広島2-11-11（やま館）
施主	九州旅客鉄道株式会社、宮崎交通株式会社
設計	株式会社 久米設計
施工	JR宮交ツインビル新築工事共同企業体 （前田建設工業株式会社・株式会社 坂下組・株式会社 志多組JV）
竣工年月	2020年11月
敷地面積	4,164.97㎡（うみ館） 3,096.44㎡（やま館）
延床面積	24,230.42㎡（うみ館） 12,187.73㎡（やま館）
構造・階数	鉄骨造・地上10階（うみ館）、地上6階（やま館）

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497BP
ウォシュレット アプリコットP（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5830AUYS
自動洗浄小便器:UFS900JCS
ハイドロセラフロアPU:AB690BR
洗面器:L505
台付自動水栓:TENA40AW
水石けん供給栓:TLK05203J
クリーンドライ（ハンドドライヤー）:TYC420W
フラットカウンター多機能トイレバック: XPDA5RS5111WWG、XPDA0LS5111WWW
ベビーシート:YKA25系
ベビーチェア:YKA15系
フィッティングボード:YKA41
フック:YKH22
パブリック用手すり:T112CL10、T112CU22、T112CP5S